

道徳 小学校 4年

資料名「自分って、何だろう」
出典 「京の子ども明日へのとびら」
京都府教育委員会

本時の流れ（1時間）

今日の資料について知る。
「自分って、何だろう」

自分について考えさせ、資料に興味をもつ。

「自分（〇〇さん）って、どんな人？」と聞かれたら、どう答えますか。

板書例・資料についてはこちら

CLICK

資料前半の範読を聞き、「自分」の特徴について考える。

「このわたし（〇〇さん）」のかけがえのなさはどこにあるのでしょうか。

資料後半を読み、他人と自分の関係を考える。

「『このわたし』は他人のあてさきとしてある」というのはどういうことでしょうか。

級友に「手紙」を書く。

「級友が何かをしたとき、どのように思ったか」を書いて、その級友に渡してあげましょう。

感想を書く。

児童の感想へ

級友からもらった「手紙」を読んで、感じたことや新たに気付いた「自分」について書きましよう。

主題名 自己理解

内容項目 1-(5)

自分の特徴に気づき、よい所を伸ばす。

本時のねらい

友だちからもらった「手紙」を読むことで、自分のよい所に気づき、さらに伸ばそうとする道徳的実践意欲を養う。

性格や、「～が得意」「～が苦手」等の特徴は、他にも同じ人がいることを確認させ、自分のかけがえのなさにはならないことを実感させる。

他人の視線の対象となることで、「わたし」が成り立つことを理解させ、人は、人との関わりの中で生きていることに気付かせる。

表現する機会の充実

人は、人の視線の対象になって初めて成り立つのなら、この手紙はまさに人を人たらしめる手紙である。それゆえ、より具体的な行動を取り上げ、その時の気持ちを率直に伝えさせたい。

表現する機会の充実

感想を書かせることで、自分と対話させ、自分の考えの変化や成長に気付かせる。また、自分という存在を見つめ直させ、自分の価値を見い出させる。

指導計画へ

HOME